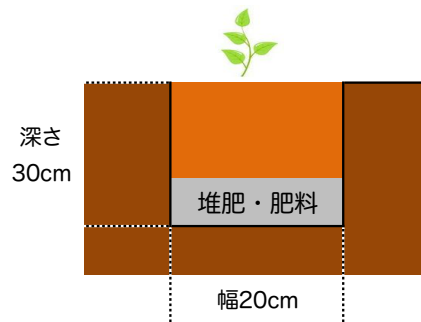


## ①土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石 灰 100g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておく
- ・牛糞堆肥 6リットル
- ・肥 料 100g

※その他の肥料（用意できれば最高です！）

- ・魚 粉 100g（トマトを甘くします）
- ・よ う り ん 50g（実つきをよくします）



※畝に溝を掘り、そこに堆肥と肥料を入れ、土をかぶせる。根が下に伸びる野菜には有効な方法。

## ①苗選び

- ・本葉が7～8枚程度のものを選ぶ。
- ・葉の色が濃いものを選ぶ。
- ・黄色い花（つぼみ）が付いているものを選ぶ。

## ②植え付け

- ・新潟では5月～6月中旬に苗を植え付けます。
- ・株間は80cm程度あけます。
- ・トマトは乾燥を好みますので、マルチを敷いて梅雨時期の雨が土にしみ込まないようにします。
- ・植え穴をあけたら、水を入れてから植えます。（根付きがよくなります）
- ・花（つぼみ）のある方に実が付きますので、植え穴に入れる時は、収穫がしやすいように、花（つぼみ）が付いている方を外側に向けます。
- ・支柱を立てて、苗が倒れないように、茎を支柱に紐で結びます（「誘引」と言います。）

## ③わき芽かき

- ・生長してくると葉の付け根からわき芽が出てきます。わき芽は全て摘み取り、主枝にだけ実を实らせる「一本仕立て」で育てます。わき芽を摘み取ることで、栄養が凝縮し、実が大きくなり、また日当たりや風通しが良くなるので、病害虫も発生しにくくなります。
- ・わき芽はどんどん伸びてくるので、一週間に一度はわき芽かきを行いましょう。

## ④着果・追肥

- ・花が咲き始めたら、花の真ん中を指で触り、着果を促します。
- ・最初の実が大きくなり始めた頃に、マルチをめくって畝の肩に30g/㎡を施します。

## 【留意点】

- ・防虫対策として、マリーゴールドを株元に植え、光る物（CD等）を支柱に付けるのも良いですよ。
- ・もぎたてのトマトを畑でかじってみてください。最高ですよ！